

このニュースはFAXとメールで送信しています。地域民報への転載、各支部への配布にご活用下さい。

さっぽろ

市議団ニュース

2014年10月7日

No.110

日本共産党市議団事務局発行
電話 211-3221 FAX218-5124

建設技能労働者の待遇、改善せよ 宮川じゅん議員が質問

宮川潤議員は7日の決算特別委員会で、入札不調・不落について、建設産業の構造的な問題に触れて質問に立ちました。

昨年3月、国土交通省建設産業局長が建設業団体、都道府県知事と指定都市市長、および民間発注者団体にあてた文書で「若年者が建設業への入職を避ける一番の理由は、全産業の平均を26%も下回る給与水準の低さ」としたことを指摘し、**宮川議員**は「入札不調の原因には、労働者の賃金が低いために建設技能労働者が減り、工事を請け負うことができない状況がある。本市が発注者として元請け企業に対し、短期的には賃金や社会保険の加入なども含めた労働者の処遇改善を、中長期的には雇用問題や下請け構造の改善をはかることが必要ではないか」と指摘しました。また、「適正な価格で仕事を出し、品質の高い成果物をつくり、労働者にも適正な賃金が保障される入札方式とし、その点で総合評価落札方式を進めるべきだ」とたどしました。

木村義広管財部長は、「北海道の建設業就業者はこの10年で7万人減少し、55歳以上が全体の39.1%と高齢化が進行している。元請に社会保険加入や賃金改善を要請しているが、今後総合評価落札方式の見直しについて、内容や件数の拡大について検討していきたい」と答弁しました。

政務活動費のチェック機能、強化を 小形かおり議員が質問

小形かおり議員は7日の決算特別委員会で、議会費の政務活動費について質問に立ちました。

“号泣記者会見”で大きく報道され問題となった元兵庫県議は、実際には行っていないのに3年間で345回の日帰り出張をしたとして約800万円を、また金券ショップで換金するために切手代約250万円をそれぞれ政務活動費から使ったという疑いが持たれています。

この事件に触れて**小形議員**は「議員としてあるまじき行為」としながら、「本議会で同様のことが起きないようにチェック機能は働くのか」とたどしたのに対し、**小島祐司議会事務局次長**は“政務活動の手引き”に基づいて「まずは各会派において責任を持って執行していただくのが大原則」と答えるにとどまりました。

小形議員は「切手の場合は、料金別納として換金できない仕組みを促せるのではないかな。市民目線で見ておかしいと思われる支出については、本市議会では繰り返させない措置をとるべきだ」と市議会でのルール作り、チェック機能の強化を求めました。